



いちいの会 だより

令和2年
54号

ICHIINOKAI VOL. 54

発行/社会福祉法人 いちいの会 <http://www.ichiinokai.com>



ウォーターパーティー

社会福祉法人いちいの会 ワークショップくすのき 副施設長 大谷 篤司

いま、新型コロナウイルスの影響で、多くの会議やイベントが中止になっています。法人内の外出や行事もほとんど中止になっています。

法人で一番大きなイベントでもある「くすのき祭」を11月1日に予定しておりましたが、やむを得ず中止の判断をすることになりました。今年は、くすのき苑がスタートして20周年という記念すべき年になるので、来場していただいた皆様に20年間の感謝の気持ちをもって、お迎えしようと考えていたのですが、とても残念であります。また改めて、皆様には、その旨のお便りをお送りいたします。

コロナが完全に収束するのは、いったい何時になるのでしょうか。ずっとコロナと共存していかなくてはならないのでしょうか。ニュースを見ていると繁華街でインタビューを受けている人たちは「こんなに多くの人たちがいて、怖いですね」と答えているのをよく見ますが、その度に「あなたも、その一人ですけどね」と突っ込みを入れてしまいます。居酒屋さんが夜遅くまで開いていたり、国も旅行に行くことを支援したり、経済は元通りとまではいかないものの、活発に動いています。

利用者の方たちの生活も元通りにと考えながらも、コンビニに行くだけで、ニューノーマル・ソーシャルディスタンスを意識していかなくてはなりません。その方法を職員も一緒に学んでいくことから始めていかなくてはなりません。

アフターコロナの世界を生きていくために、課題を課題のままとせず、課題を解決する力を身に付けていければと思います。そのための、準備を整えていく必要があります。

「行先が不透明」とものごく不安になることもありますが、そもそも未来はどのようになるかわからないもの、これはダメ・あれは無理と悲観的にならず、今の自分が出来ること、楽しめることを考えていきたいと思います。

ということで、最近、私の休日は、おいしいテイクアウトのお弁当を発掘しようと、必死で検索しています。田舎なので社会資源がありませんが…。



●目次●

- ◇副施設長挨拶 …………… 1
- ◇家族会新会長挨拶
家族会役員紹介
新型コロナに
負けないぞ! …………… 2
- ◇作業班だより …………… 3
- ◇日常の様子
職員日記 …………… 4
- ◇行事いろいろ …………… 5
- ◇苑庭の様子
編集後記 …………… 6

家族会会長挨拶

家族会会長 染谷 信一

家族会のみなさまには日頃からご協力いただき心よりお礼申し上げます。

この度家族会会長に就任した染谷信一です。新型コロナの影響で定例総会が遅れ書面議決により各議案が決定され、新役員についてもみなさまにご挨拶の場を持つことができなかったことをお詫び申し上げます。

また今回退任された鈴木良造前会長には、大変お世話になりありがとうございました。環境整備や研修会、くすのき祭などみなさまのご協力で開催できましたことに感謝申し上げます。新役員一同でこれから家族会運営に当たりたいと思いますのでよろしくお祈りいたします。

家族会としても権利擁護（虐待防止）の活動や成年後見人制度、施設利用者の高齢化、施設の更新など課題も多々ありますが一歩ずつ進んでいきたいと思っています。また、誰もが経験したことのない新型コロナの影響や家族会会員の高齢化の中、改めて家族会活動を見直していくことも必要と考えています。

今、介護事業は大変厳しい状況になっています。人手不足に感染対策と課題が山積みの状況ですが「利用者第一の充実した支援サービス 地域福祉への貢献 やりがいと研鑽そして笑顔の職場」を目指している役員のみなさまに心よりエールと感謝の気持ちを送ります。

家族会新役員

副会長 山村 正範

担当役員 長 則子

担当役員 長沼美代子

担当役員 森 恵美子

会計担当 柴田 節子

会計担当 日高 繫子

会計監査 大野 祐子

会計監査 高木美栄子

新型コロナに負けないぞ！



ワークショップくすのき

ワークショップくすのき生活支援員 亀井 梨加

3月中旬から、私たちを取り巻く環境が、一変しました。

年が明けてから、ニュースで耳にはしていたものの、実際にマスクや消毒液などの生活用品が品薄になるまでは、深刻な状況になっている実感が湧きませんでした。

ワークショップくすのきでは、迅速にコロナウイルスへの対応について話し合い、入り口での検温や手の消毒、対面で作業を行う際に、感染を防ぐためのビニールカーテンの設置など、利用者の方々が安全に日中活動を行えるよう環境を整えてきました。

その後、5月の緊急事態宣言を受けて、作業時間を短縮し、14時までの作業で営業としていました。毎日の受け渡し時の検温や作業時間、送迎時間の変更が多々あり、ご家族の皆様には多大なるご協力を賜りましたこと、この場をお借りしてお礼申し上げます。

緊急事態宣言解除後は、通常日課にて営業再開いたしました。まだ感染者数の推移でみれば油断ならない状況です。

一層気を引き締めて、利用者の方々が安心して登所出来るよう、私たちができる感染症対策は全て行い、引き続き張り合いと楽しみのある日中活動の場を提供していく所存です。

ピリープ班

主任生活支援員 秋山 直樹

新型コロナウイルス。連日ニュースで報道され、感染力の強さや特効薬のない症状に戦々恐々とする日々。特にピリープ班は半数近くが60歳を超える高齢の方々。高齢の方は重篤化しやすいとの情報も。苑内にウイルスを持ち込むことは絶対に防ぐ必要があります。幸い、毎日の消毒や健康管理等により感染者はゼロ。今後も一致団結、継続していかなければ。

ピリープ班では今年度、毎週金曜日に「ドライブをして買い物やカフェを楽しもう！」という企画を始めたのですが、緊急事態宣言が出されてから見送る日々が続きました。しかし解除後、自由に買い物、とはいきませんが、ドライブ先で利用者の方々の希望する飲み物を代理で購入して楽しんでもらう、という事から始めました。その際、車椅子の昇降装置の付いた車を使うようにし、普段はほとんど使わない、けれども必要な時には必ず必要になる昇降装置の使い方を覚える機会にもなりました。車椅子の方にも負担なくドライブを楽しんでもらえています。

新型コロナウイルス。転びっぱなしでなるものか。転んだからこそ見つかる可能性が必ずある。それを掴み取ろうと、ピリープ班は今日も笑顔で立ち向かいます。

ステップ班

生活支援員 清宮 和博

コロナ拡大に伴って、ステップ班では主にリサイクル班と課題班が大きな日課変更を行い、食品加工班とも協力して利用者が安定した生活を送る為の日課を組み、対策を行いました。

コロナによって具体的にどのような影響を受けたかという点、リサイクル班では、作業に使用している空き缶や空のペットボトルがパチンコ店の営業停止を受け、回収できなくなってしまいました。その為、代わりになる日課として課題班、食品加工班と協力して長距離散歩を実施しました。初めての試みだった為、最初は手探りでいくつかコースを決めて、どのコースなら安全に歩けるか、長い間散歩する事によって利用者に変った様子はないか、途中の休憩場所はどこが良いか等、皆で意見を出し合いながら徐々に散歩のルールを決めていきました。また利用者のコロナ対策としてマスクを着用しました。利用者の中には、マスクを付けるのを嫌がってしまう人もいますので、代わりとして麦わら帽子に紐を取り付け、そこにマスクを付けたり、マスクが出来ないなら傘を使ってみたりと、様々な工夫を行いました。

コロナ対策を通して、職員が協力して工夫を凝らすことで、できないと思われていた事が、実はできたという新たな発見をする事ができました。利用者の可能性をもっと引き出せるように、この経験を活かしていきたいです。

食品加工班

生活支援員 額賀 敦子

食品加工班ではコロナの影響で作業を中止し、ステップ班と合同で散歩を行っていましたが、現在はコロナ対策に必要な防護服、フェイスガード、マスク作りを行っています。

散歩は今まで行えていなかったのが、利用者さんにとって良い運動になりました。普段は室内でクッキーやケーキなどを作っていましたが、今回のコロナの影響で運動量の確保や、ステップ班が行っていた、トークン制度など初めての事が体験できたのではないかと思います。皆で土手まで歩き、土手に着いてから好きな飲み物を飲んで、休憩している時の笑顔はとても清々しく感じました。コロナ対策に必要な防護服はゴミ袋を代用し、フェイスガードはラミネートを使用して作っています。マスクは可愛いデザイン生地を使用し手作りして仕上げています。

今回のコロナ対策の対応で、ステップ班と合同で散歩を行ったり、食品ではない物を作るなど、いつもとは違う日中活動ではありましたが、利用者さんは理解をし、いつもより丁寧に、真剣に日中活動を取り組んでくれました。

今後の動きはまだ定まってはいませんが、また食品加工班として動ける日を願っています。そして防護服やフェイスガードが使われる日が来ることなく、今後も消毒の徹底や職員が持ち込まないように務めたいと思っています。



日常の様子



こいのぼりを作ったよ！



そうめん美味しかったね！



職員日記

生活支援員 吉原 咲登美

皆さんは学生時代から続けているスポーツ、または社会人になってから始めたスポーツはありますか？体を動かす事が好きな私は小学校2年生から始めた卓球を今でも続けています。学生時代は、卓球を通して他の学校や他県の人達と仲良くなる事が出来たのですが、就職で野田市に来たばかりの頃は仕事も職場の人達とも慣れておらず、周辺に知り合いもいなかったため、数ヶ月間は孤独な日々を送っていました。そんな中趣味の卓球を通して友達を作りたいと思いクラブチームに所属しました。流山市にあり少し遠いですが、週2回ほど通い汗を流しています。仕事で疲れている時、嫌な事があった時もラケットを握り体を動かしていると気分転換する事が出来ます。休みの日は個人戦または団体戦を組み大会に出ています。勝ち負けがあっても悔しい思いはしますが、沢山のひとと会って色々な話しをして楽しい1日を過ごしています。今は新型コロナウイルスの影響で卓球はほとんどできていませんが、落ち着いたら今後は卓球だけではなく、バレーやゴルフなど他のスポーツにも挑戦してみたいと思っています。コロナが落ち着いたら、皆さんも運動をして身も心もリフレッシュして日頃の疲れを癒してみたいでしょうか？



ピリーブ班アイスレク

生活支援員 滑川 雄介

6月30日に、ピリーブ班でレクリエーション「愉快的仲間たちのアイスクリーム屋さん」を行いました。コロナウイルスの影響で、外出が少なくなっている利用者さんに、外出気分を味わってほしいという思いを込めて、「お店」を意識したレクリエーションにしました。

1階と2階に分かれて行い、1階ではアイスクリームの塗り絵を楽しみ、2階では4種類のアイスから好きな味を3種類選び、その上に好きなトッピングをして美味しく食べました。カラフルに盛り付けたり、ボリューム満点にしてみたり、自分好みのアイスを作っていました。真剣に盛り付ける方や、食べる事に夢中になっている方、普段の生活では見せない表情を見せてくれました。レクリエーション終了後に、「先生楽しかった！またやろうね！」「アイスうまかった」等、とても喜んでいただけました。

レクリエーションの中で、多くの笑顔が見られました。自然と私達、職員も笑顔になっていました。これからの支援では、利用者さんの笑顔を引き出せるよう、私自身が笑顔で支援できるように努めていきたいと思えます。



恒例 流しそうめん

ならぬ 流れないそうめん大会

生活支援員 中山 明日美

おしおとした日が続いておりましたが『こんな時こそ涼しく、おいしく乗り越えよう！』という事で、くすのき苑では毎年恒例のそうめん大会を行いました。

いつもであれば苑庭で流しそうめん大会の予定だったのですが、生憎の天気模様と新型コロナウイルスの関係により「流さないそうめん大会」に変更いたしました！

流さないそうめんはただのそうめんじゃないのか、という声もあるかもしれませんが…。そこはご愛敬…。

茹でたての白いそうめん！あまいジュース！まさに！お昼ご飯を食べて少し体を動かした後にはぴったりのパーティーだと思いませんか？

そうめんが配られるまでの間、皆さん「そうめんまだ？」「いっぱい食べたいな〜」等わくわくしながら待っておりました。中には待ちきれずにワゴンを一生懸命覗こうとする人まで！

そのくらい皆さん楽しみに待っていましたので、企画をしてよかったと職員一同心から思いました。美味しく、のど越しの良いそうめんは、やはりつると皆さんの胃の中に入ってしまう様で沢山の「おかわり！」を聞くことができました。今回も大成功で終わりましたが、来年度こそは苑庭でわいわいと流しそうめんが出来れば良いと思います。





苑庭の様子

外出自粛の影響で、楽しみの少なくなった利用者さんの気持ちを少しでも和ませようと、職員が苑庭にいろいろな花や実のなる植物を育てています。

苑庭の芝生も丁寧に刈り込まれ、見事なバラの花が咲き、スイカやミニトマトが立派に実を付けました。早く食べたいなああと、利用者さんが毎日楽しみにしています。



くすのき祭中止のお知らせ

11月1日（日）に開催を予定してありましたくすのき祭ですが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ご利用者や職員はじめ、ご来園される皆様方の安全面を第一に考慮した結果、誠に勝手ながら開催を中止させていただくことになりました。

ご参加をご検討いただいていた皆様にはご迷惑をおかけすることとなり、大変申し訳ございません。

何卒ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

あとかき

インドア派だったので、コロナウイルスが流行る前後で生活リズムが全然変わらなかった。皆さんも家で楽しめる趣味を見つけて、コロナウイルスを乗り切りましょう。（清宮）

なんと実家を飛び出し一人暮らしを始めました。通勤が徒歩5分から自転車で25分になりました。全てが初めてで何も分かりません！皆さんの節約術、募集中！（藤川）

いちいの会だより VOL.54

発行 社会福祉法人 いちいの会 くすのき苑
〒270-0222 千葉県野田市木間ヶ瀬3121
TEL:04-7120-6667 FAX:04-7120-6668

発行人 総合施設長 清本 健二郎

編集 広報委員会 清宮・藤川

発行日 令和2年8月吉日

E-mail kusunokien@nifty.com

H P URL:<http://www.ichiinokai.com/>